

みやぎ街道交流会

題字:高倉 淳初代会長 揮毫

みやぎ
街 道
交 流 会
ニ ュ ー ス
第 26 号

2014.1.25 発行



巻頭言

新年のごあいさつ

みやぎ街道交流会 会長 白鳥 良一

平成 26 年、午年の新年を迎えました。明けましておめでとうございます。

干支にちなみ、みやぎ街道交流会と会員の皆様にとって大きな飛躍の年になることを願います。

平成 19 年 5 月、歴史ある街道や舟運に学びながら、心豊かで誇りあるみやぎの地域づくりに貢献することを目的として松島・寒風沢で誕生した当交流会は、今年 8 年目を迎えました。この間高倉淳前会長を中心に、当交流会ならではの数々の事業を展開し、地域作りに取り組んでいる各種団体と連携しながら、数々の成果を上げることができました。これもひとえに会員各位の積極的な活動のおかげであり、今年も交流会の諸活動の推進に一層のご活躍をお願い致します。

昨年暮れの拡大事務局会議で「ミニ講演会」の活性化について協議されました。故高倉前会長の「市井の人の研究結果を発表する機会も設けるべき」という遺志を受け継ぎ、地域で地道に研究を続けている方々や、テーマを持って活動している会員に、「ミニ講演会」という形で発表の場を提供するもので、これまでも数回行ってきました。講演会や研究会と言うとどうしても専門性の高いイメージが強く敷居が高く

なりますが、「ミニ講演会」は、研究中のものや調査途中のものなどを自由に少し気楽に発表していただくとするものです。発表者は参加者から意見や情報を提供してもらうことでさらに内容を深めることも期待できます。

こうした「ミニ講演会」を活性化することは「会員以外にも開かれたみやぎ街道交流会」としての性格を外部に示すことにも繋がり、私も大いに賛成です。もう少しハードルを下げて「勉強会」のような性格も持たせ、会員の皆さんが興味を持って調べていることなどを気軽にどんどん発表できるようにしてもいいかもしれません。講演などを聴くことや街道調査に参加することも大切ですが、小さくても自分なりのテーマを持ち調査や研究を続けることで、調べる楽しさが大きく増すはずです。これを定期的に長く続けられれば、交流会の深化と活性化にも繋がる大変すばらしい事業になることは間違いのないと思います。

今月 25 日には、(株)中央コンサルタンツ・大類雄一さんによる「歴史から街道管理を考える」と題する「ミニ講演会」があります。今年は皆さんと共にこの「ミニ講演会」をうまく軌道に乗せていきたいものです。

平成 26 年 1 月 会長 白鳥 良一

その他の記事

■ イベント報告

とうほく街道会議 第9回交流会 一関大会 / 第9回羽州街道交流会 黒石大会

□ 事務局からのお知らせ

とうほく街道会議 第9回交流会 一関大会

一関大会は、一関市巖美町祭時の「いちのせき健康の森」を主会場に昨年11月に開催されました。

知る人ぞ知る「骨寺村荘園遺跡」がメインテーマです。

本寺中学校生徒23名による本寺神楽「鶏舞」でオープンし、これからを担う世代が郷土の芸能を演じるということは意義のあることだと感じました。

基調講演は、平泉研究の第一人者で東北大学名誉教授の入間田宣夫／一関市博物館長により「骨寺村^{まさか}馬坂新道の開削と奥大道～公共性の概念をめぐる～」と題して行われました。まず、平泉の世界遺産登録を振り返りながら、骨寺村は「中尊寺に残される二枚の絵図によって、山間の小村に仏教が伝えられて、在来の自然神に対する信仰と「融合」するなかで、日本農村の原風景ともいべき独自の景観がかたちづくられたことが、鮮明に描き出されていた。しかも、そのうえに、その原風景が、今日にまで残されている。**日本はむろん、アジアにも、これほど鮮明に、仏教伝来による農村景観の「アンサンブル」形成を物語ってくれる場所はなく、単独でも世界文化遺産として価値ある。**」とのこと。その後、日本固有の自然信仰と仏教の施設について、絵図と写真で説明がありました。本題の**「仏教伝来後の「馬坂新道」(馬での利用が可能)の開削は、古道に変わるその新道は私道ではなく、仏の加護に預かる「公共性」の高い道であるとアピールするため、経塚(慈恵塚)を築いたのではないか。**この事は、奥大道の金色阿弥陀仏の傘卒塔婆や中間地点の中尊寺多宝塔も同様である。とのこと。

その後、2つの分科会が行われ、第1分科会「骨寺村の保存と活用」は、骨寺村に関わる6名の方々により行われ、それぞれの立場での骨寺村への関わりや魅力が紹介され、それを次世代にどう繋げていくかという視点で、**大長寿院菅原住職の平泉での事例や地元の地域づくり協議会佐藤会長の苦勞と意気込みなどが話され、我々の理解と協力も必要**と感じました。

第2分科会「芭蕉の道、奥の細道を通じた交流連携」は、芭蕉の訪れた松島・一関・最上・象潟の方々により行われ、連携施策として「**東北観光の目玉である奥の細道全区間を安全に歩ける土の道で整備**」との提言や地域コミュニティによるビジネスについて意見交換が行われました。

外に、1日目は、活動紹介パネル展や恒例の東北各地の地酒による街道談義が行われました。

2日目の探訪会は、「A:骨寺村を巡る」、「B:芭蕉の道を辿る」の2コースで開催され、晩秋の青空のもと探訪を楽しみました。

(山屋レポートより)



オープニング

本寺神楽「鶏舞」



会場の様子



Aコース:若神子社と駒形根



Aコース:晩秋の水田風景



Bコース:女ころし坂



Bコース:苅又一里塚

第9回羽州街道交流会 黒石大会

オープニング



黒石大会は、「**バードの道で羽州街道を語る**」のテーマで昨年11月、黒石温泉郷にある津軽伝承工芸館を主会場に開催されました。

オープニングは、当然の津軽三味線の競演です。

津軽じょんがら節発祥の地である地元生まれ、平成24年全国大会最高位受賞の渋谷さんの演奏に感動しました。

第1分科会の様子



基調講演は、イザベラ・バード研究家である高畑美代子さんの「イザベラ・バードが辿る明治の日本～通訳 伊藤の素顔～」と題して、**バードと通訳・伊藤に関する知られざる話とか、バードが訪ねた当時の黒石の様子について、豊富な研究成果に基づいた内容**でした。引き続き、三村三千代さんの『日本奥地紀行』の**黒石前後部分を含めた朗読があり、活字を目で追うのと違う感覚**がありました。

その後、分科会が開催され、第1分科会「**バードの道と地域づくり**」、第2分科会「**古い町並みの魅力**」の2つの分科会が行われ、それぞれの取り組みの紹介や今後の課題などが話し合われました。

夜は、恒例の街道談義が羽州街道沿線などの地酒と郷土料理により行われ、**津軽三味線による民謡と手踊りのアトラクション**もありました。

2日目の探訪会は生憎の悪天候でしたが、**国名勝「金平成園」**、そして**バードの訪ねた国重要伝統的建造物群保存地区「中町こみせ通り」**及び**「中野のみみじ山」**を辿りました。

(山屋レポートより)

中野のみみじ山



名勝「金平成園」



こみせ通り



国重要文化財「高橋家」



【各イベントの概要】

とうほく街道会議 第9回交流会
岩手県 一関大会
ほねでら
『骨寺村から平泉・東北を考える』

開催日:平成25年11月1日(金)～2日(土) メイン会場:いちのせき健康の森
【1日目】基調講演「骨寺村と平泉」講師:入間田 宣夫 氏/東北大学名誉教授
分科会「骨寺村の保存と活用/パネルディスカッション」
「芭蕉の道(奥の細道)を通じた交流連携/車座座談会」
その他「街道パネル展(常設)」「街道談義(17時半～19時半)」
【2日目】探訪会「Aコース:骨寺村をめぐる」「Bコース:芭蕉の道を辿る」

第9回 羽州街道交流会
青森県 黒石大会
『バードの道で羽州街道を語る』

開催日:平成25年11月9日(土)～10日(日) メイン会場:津軽伝承工芸館
【1日目】基調講演「イザベラ・バードが辿る明治の日本～通訳 伊藤の素顔～」
朗読会「日本奥地紀行」
分科会「①バードの道と地域づくり」「②古い町並みの魅力」
【2日目】探訪会「バードの足跡探訪会(バードが歩いた道と町並みを辿る)」

今後予定している街道関連イベントをご案内します。ぜひお出かけください。
また、興味のある方はお気軽にお問合せください。

街道イベントのご案内



関山街道フォーラム協議会 鉄道遺産プロジェクト

平成26年2月2日(日) 13:40~17:00

～仙山線の魅力再発見～

「鉄の道部会」において企画検討を進めておりました、「鉄道遺産プロジェクト～仙山線の魅力再発見～」を開催する運びとなりました。講演会終了後には講演者、パネリストの皆さまを囲み懇親会を予定しています。

メイン会場: せんだいメディアテーク 7階 スタジオシアター

【第一部】 基調講演「仙山線、思い出から未来へ」

講師: JR東日本福島駅長 狩野 安則氏

【第二部】 パネルディスカッション「新たな仙山線ものがたり」

- | | | |
|-----------|----------------------|--------|
| ・コーディネーター | : 東北大学大学院工学部工学研究科准教授 | 後藤 光亀氏 |
| ・アドバイザー | : 宮城大学事業構想学部教授 | 宮原 育子氏 |
| ・パネリスト | : 東北福祉大学教授 | 星山 幸男氏 |
| | みちのく鉄道応援団 | 佐藤 茂氏 |
| | 山形大学人文学部教授 | 下平 裕之氏 |
| | 山寺地区文化観光推進協議会 | 新関 孝夫氏 |

問合せ先: 広瀬市民センター まで

TEL 022-392-8405 FAX 022-392-8410

事務局からのお知らせ

【H26.1.25現在の会員数】 78名/団体会員7団体を含む(前号報告より2名増)
正会員 46名 団体会員 7団体 賛助会員 7名 WEB会員 18名

会費納入に関して

- 会費納入いただきました会員の皆様には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。
- なお、当年度の会費は引き続き随時受け付けておりますので、納入がお済みでない方は、下記口座までお振込いただくか、みやぎ街道交流会事務局までお持ちください。

【会費のお振込み先】 みやぎ街道交流会 会計 馬場恭子
仙台銀行(コード:0512) 上杉支店(コード:225) 普通口座 2523091

会員登録内容に関して

- 会員登録内容に変更の希望がある方は「会員種別異動届書」を事務局までご提出ください。
 - 会員種別異動届書が必要な方は、事務局までお気軽にお問い合わせください。
- ※当交流会担当者が不在の際は「会員登録内容の変更」の旨とお名前・連絡先をお伝え下さい。こちらから折り返しご連絡を差し上げます。

【お問合せ先】 電話・FAX・Eメールでご連絡をお待ちしております。
TEL 022-722-3380 FAX 022-722-3381 mail miyagi.kaidou@gmail.com

編集後記

★みやぎ街道交流会ニュース第26号を最後までお読みいただきありがとうございます。今号は白鳥会長から巻頭言をいただき、京野副会長からご提供いただいた松島湾の力強い写真とともにお届けいたしました。イベント報告では昨年のメインイベント「とうほく街道会議・一関大会」と「羽州街道交流会・黒石大会」のレポートを掲載しました。今年はいよいよとうほく街道会議が第10回大会を迎えます。第10回大会は関山街道をテーマに開催を予定しており、今月からいよいよ準備会が立ち上がるなど本格的に動きだしました。皆様、秋の大会開催までどうぞお楽しみに！

★2月2日はせんだいメディアテークにて、「仙山線・鉄道遺産プロジェクト」のイベントが開催されます。主催の関山フォーラム協議会は当街道交流会の呼び掛けで設立した団体です。是非足をお運び下さい！

★平成26年、午年になりました。縁起が良い年なので、物事が“うま”くいく気がしますね。皆さまにとって良い年でありますように。(松)

交流会ニュースでは、会員の皆様からの投稿をお待ちしております。街道探訪記や研究成果、季節の写真やスケッチなど、内容は問いません。ぜひ、交流会ニュース編集部までお知らせください。